

会員の声

中部支部の分割について

佐藤 明達

支部の地方区分は、支部委員を選挙するときの基本として重要である。現在、研究会では会員が支部例会や合宿に参加しやすいように、山梨県は関東支部に、三重県は中部支部に含めている。しかし中部地方は中央に日本アルプスの連山をいただき、太平洋側と日本海側とでは風土がかなり異なる。そこでこれを東海地区と北陸地区とに分けてはどうだろうか。この分け方は国政選挙や市町村合併に関する新聞記事などで時々目にするもので、別段目新しいものではない。岐阜県は東海地区に、長野県は北陸地区に含めると、新しい支部区分は図1のようになる。2004年9月1日現在の会員名簿によれば、中部地区の会員数は表1の通りである。

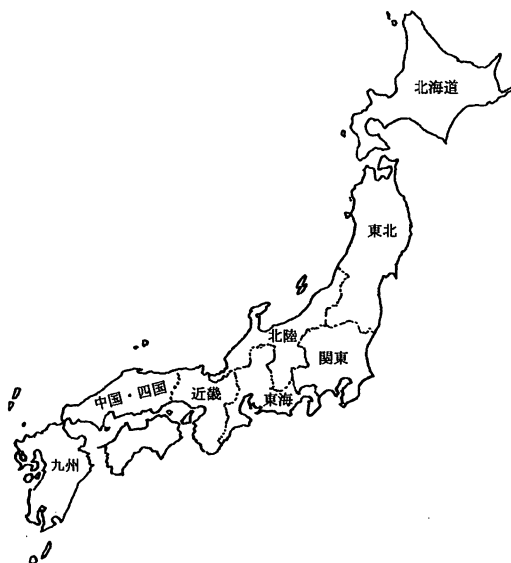


図1 支部区分の改定案

北陸に支部を作れば、新しい天文教育の拠点として機能するのではないか。会員、特に中部支部の人達に検討をお願いしたい。ただし個人の意志を尊重して、会員にこの支部区分を強制してはならない。

[参考] 名簿による支部別の会員数を図2に示す。当然ながら東京・大阪・名古屋などの大都会を擁する支部の会員数が多い。ただし名簿にある中部支部の会員数は表1の人数の和より3人多い。

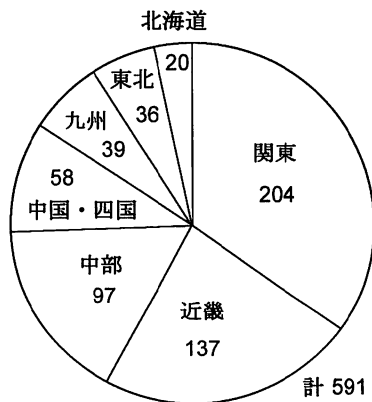


図2 支部会員数

表1 中部地区会員数

東海地区		北陸地区	
静岡	7	長野	14
愛知	41	新潟	6
岐阜	9	富山	3
三重	9	石川	3
		福井	2
小計	66	小計	28